

景観配慮協議申出書

令和5年 2月 13日

(宛先) 鎌倉市長

住所 神奈川県横浜市戸塚区小雀町195番地2

届出者 氏名 株式会社 小泉ホールディングス 代表取締役 小泉和雄
 電話 045 (851) 3646

住所 東京都港区港南2-12-23 明産高浜ビル3階

代理人 氏名 株式会社ユニバァサル設計 本多淳一
 電話 03 (6712) 3349

鎌倉市役所
 令和 -5.2.14 受付
 第 4-36 号
 1942

〔法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。〕

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の 名 称	(13) 大船地域まち並み型商業地 (11) 拠点商業地		
景 観 地 区	<input type="checkbox"/> 内 () <input checked="" type="checkbox"/> 外		
設 計 者	住 所	東京都港区港南2-12-23 明産高浜ビル3F	
	氏 名	ユニバァサル設計 本多淳一	電話 03 (6712) 3349
行 為 の 場 所	地 名 地 番	鎌倉市大船一丁目100番43ほか2筆	
	用 途 地 域	商業	防火地域 <input checked="" type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input type="checkbox"/> 指定なし
	そ の 他	<input type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他 ()	
行 為 の 種 類	建 築 物	<input checked="" type="checkbox"/> 新築 <input type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開 発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特 定 地 区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行 為 の 期 間	着手予定	令和5年 11月 1日	完了予定 令和6年 12月 31日

(裏)

建築物の概要	用途	店舗・飲食店				
	最高の高さ	24.55m	階数	地上 6階	地下 0階	
	構造	RC造				
	敷地面積	211.37m ²				
	建築面積	150.49m ²	届出以外の部分	m ²	合計	150.49m ²
	延べ面積	875.87m ²	届出以外の部分	m ²	合計	875.87m ²
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	□ 高架水槽 m ■ その他 2.4m				
	色彩の変更部分とその面積	面積 m ²				
	仕上材	屋根	コンクリート	色彩	屋根	色相N、彩度0、明度5
外壁		ECP コンクリート 木目調ルーバー	外壁		色相N、彩度0、明度4 色相N、彩度0、明度4 色相10YR、彩度4、明度6	
開発行為の概要	開発区域の面積	m ²				
	行為の目的	分割 (区画) (最小区画面積 m ²)	その他 ()			
	行為の内容	切土 (m ³)	盛土 (m ³)	その他 ()		

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	商業・業務系に特化した商業地として発展している地域。
まち並みの連続性	再開発による駅ビルやターミナルを拠点としている。
周辺建物のデザイン	周辺には下町的な雰囲気をもつ中小企業が広がる。
眺 望 景 観	市街地のまわりには山並みが広がる。
景 観 資 源	大船観音や、北側には砂押川が流れる。

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	◎	人だまり空間と歩行空間の確保に努めた。
形 態 意 匠	◎	横の水平ラインを意識した小庇に対し、縦の垂直ラインを強調したサッシを組み合わせ縦横のバランスをとることで、洗練されたファサードを目指した。
色 彩	◎	周辺から突出する素材はさけ、鎌倉の玄関口に計画する建物に相応しい、周辺の緑や歴史的な街並みを引き立てる色彩とした。
建 築 設 備	◎	屋上設備まわりには目隠しルーバーを設置し景観に配慮した。
外 構 緑 化	△	目標とする緑化率にできるだけ近づけた。

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成		
擁 壁		
敷き際・緑化		